津田塾大学国際関係学科
50周年記念シンポジウム

日時 2019年12月15日（日）
13:00〜17:20

会場 小平キャンパス 1111教室

われわれの課題と展望


出典：津田塾大学デジタルアーカイブ

第1部　本学における国際関係学の展開

パネリスト

長沼秀世（津田塾大学 名誉教授）

東寿太郎（津田塾大学 名誉教授）

小倉充夫（津田塾大学 名誉教授）

林　　哲（津田塾大学 名誉教授）

加納弘勝（津田塾大学 名誉教授）

百瀬　宏（津田塾大学 名誉教授）

第2部 国際関係学の展望ー地域から見た国際関係ー

パネリスト

三砂　ちづる
（津田塾大学学芸学部 多文化・国際協力学科 教授）

柴田　邦臣
（津田塾大学学芸学部 国際関係学科 准教授）

朴　正鎮
（津田塾大学学芸学部 国際関係学科 教授）

伊藤　るり
（津田塾大学総合政策学部 総合政策学科 教授）

高橋　和
（山形大学 名誉教授）

今泉　裕美子
（法政大学国際文化学部 国際文化学科 教授）

小林　知子
（福岡教育大学教育学部 社会科教育ユニット 教授）

国際関係学科設立 50 周年記念シンポジウム

―われわれの課題と展望―

1969 年、津田塾大学に日本で初めて国際関係学を専門とする学科が設立されてから 50 年が経ちました。これまで国際関係学科は、地域研究と歴史的視点を重視しつつ、学際的なアプローチの再検討を試みながら、グローバル化が展開する現代世界の諸問題をより根源的に理解する努力を重ねてきました。英学塾の伝統から一歩を踏み出す、英語圏以外を含めた地域への「眼差し」、そして、このような「眼差し」が重要な意味を持つ「世界の中の日本」という視点から日本の取るべき立ち位置を見極める必要性が高まっていたこと、このような問題意識こそが日本で最初の国際関係学科の設立に至った背景として考えられます。シンポジウムでは、国際関係学科の展開に関わってこられた方々に、それぞれの立場から課題と展望について自由に語っていただきます。

日時： 2019 年 12 月 15 日（日） 13 時～
会場： 津田塾大学 小平キャンパス 1 号館 1 階 1111 教室

【プログラム】

13:00-13:05 挨拶/開催の辞

13:05-15:00 第一部 「本学における国際関係学の展開」

学科の創設・展開に関わって来られた先生方からのリレースピーチ

15:00-15:15 休憩

15:15-17:15 第二部 「国際関係学科の展望―地域から見た国際関係―」

国際関係学科、多文化・国際協力学科、および OG の先生方によるパネルディスカッション

17:15-17:20 閉会の辞

（その後、学外での懇親会を予定しています）

＊会場周辺にて、国際関係学研究科および国際関係研究所の有志によるポスター発表も行われます。
＊当日の参加者も歓迎しますが、人数をおおよそ確認するために、事前申し込みにご協力ください。

件名：「12 月 15 日シンポジウム申込（氏名）」
項目：1.お名前（フリガナ）
2.ご所属
3.懇親会の参加・不参加（会費は 4,000 円前後を予定しております）
締切：11 月 29 日（金）
連絡先：学芸学部事務室（国際関係学科）
Mail：kokuji@tsuda.ac.jp
Fax：042-342-5156